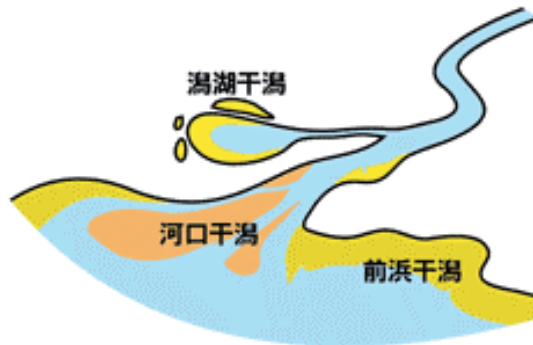


(2) 干潟

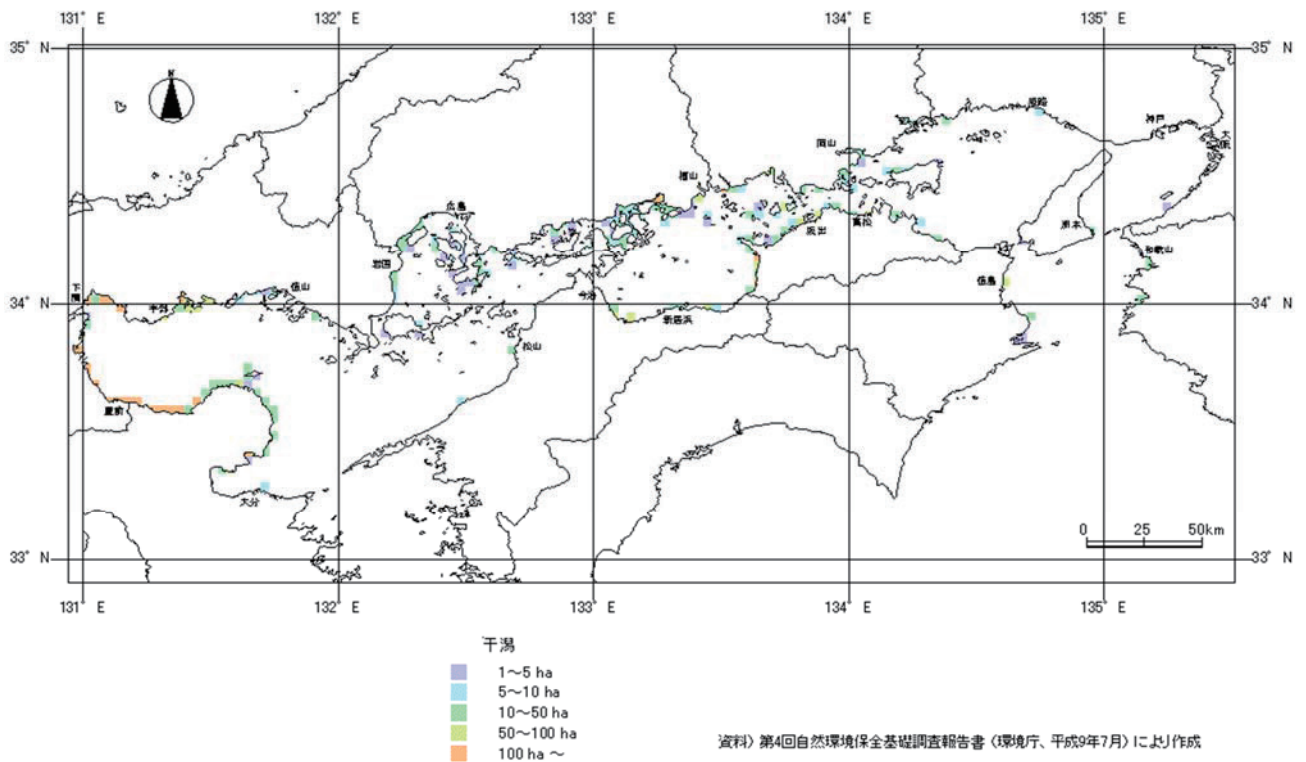
干潟は干潮時に干出する平坦な砂泥地で、砂浜の前面に位置する「前浜干潟」、河川の河口部に形成される「河口干潟」、河口や海から湾状に入り込んだ湖沼の岸に沿って形成される「潟湖干潟（かたこひがた）」がある。 瀬戸内の干潟は、大部分が前浜干潟と河口干潟である。



干潟のタイプ (水産庁 HP より抜粋)

①干潟の分布

瀬戸内の干潟で最も面積を占めるのは遠浅が多い周防灘沿岸であり、次に燧灘、備讃瀬戸に比較的多く分布する。(図3)



出典：環境省漁業環境 評価メッシュ図 (干潟)

図3 瀬戸内海における干潟分布状況

②干潟がはたしている役割

干潟は表4の通り、様々な公益的機能を果たしており、藻場と同様に将来にわたり干潟を保全していくことが重要である。

表4 干潟の公益的機能

機能	内 容
生物多様性の維持	定期的に干出す環境に適応した多様な生物の生息場であるとともに、それらの産卵場や幼稚子の保育場となる。また飛来する鳥類の餌場や休み場を提供している。
水質の浄化機能	干潟の代表的な生物である二枚貝類は、海水中のプランクトンをはじめとする有機懸濁態粒子をろ過捕食しており、赤潮の防除や貧酸素化の抑制等水質の浄化に貢献している。
富栄養化の防止	干潟表面の付着藻類は極めて高い生産力えお有し、海水中の栄養塩類を固定し、一方で、底泥中のバクテリアの脱窒作用により、窒素を空气中に放出することにより、栄養塩類の除去に貢献している。
海岸の保全	遠浅な地形が広がるため、沖からの波を弱めることにより海岸を保全している。
親水性や環境学習の場の提供	干潟は潮干狩りや、散策、野鳥観察等の場として利用され、保養や環境学習の場を提供している。

出典：「環境・生態系保全活動の手引き」（水産庁 平成 21 年 3 月）より作成



干潟の機能のイメージ図 (水産庁 HP から抜粋)